

# 田辺市 内水ハザードマップ



●このマップは、水防法に基づき、都市下水道集水区域を対象とした想定最大規模降雨時における浸水シミュレーションの結果を踏まえて作成した「田辺市内水ハザードマップ」です。浸水の状況および避難所等の関連情報を掲載しています。

●市民のみなさんが、日ごろから内水による浸水に備えられるよう、避難所等や危険箇所、防災関連施設等を確認できるように作成したものです。ご家庭や地域での話し合いに使えるよう、身近なところに保管して、いざという時に備えてください。

## 我が家の防災メモ

● 家族の集合場所

家族の避難所	指定避難所・指定緊急避難場所	連絡方法

● 家族の連絡先及び医療情報

氏名	続柄	電話番号 (自宅・携帯)	電話番号 (会社・学校)	生年月日	血液型	医療情報 (特病・アレルギー・常備薬)

● 親戚・知人

氏名	続柄	電話番号

● かかりつけ医療機関

医療機関名	電話番号

● 緊急ダイヤル

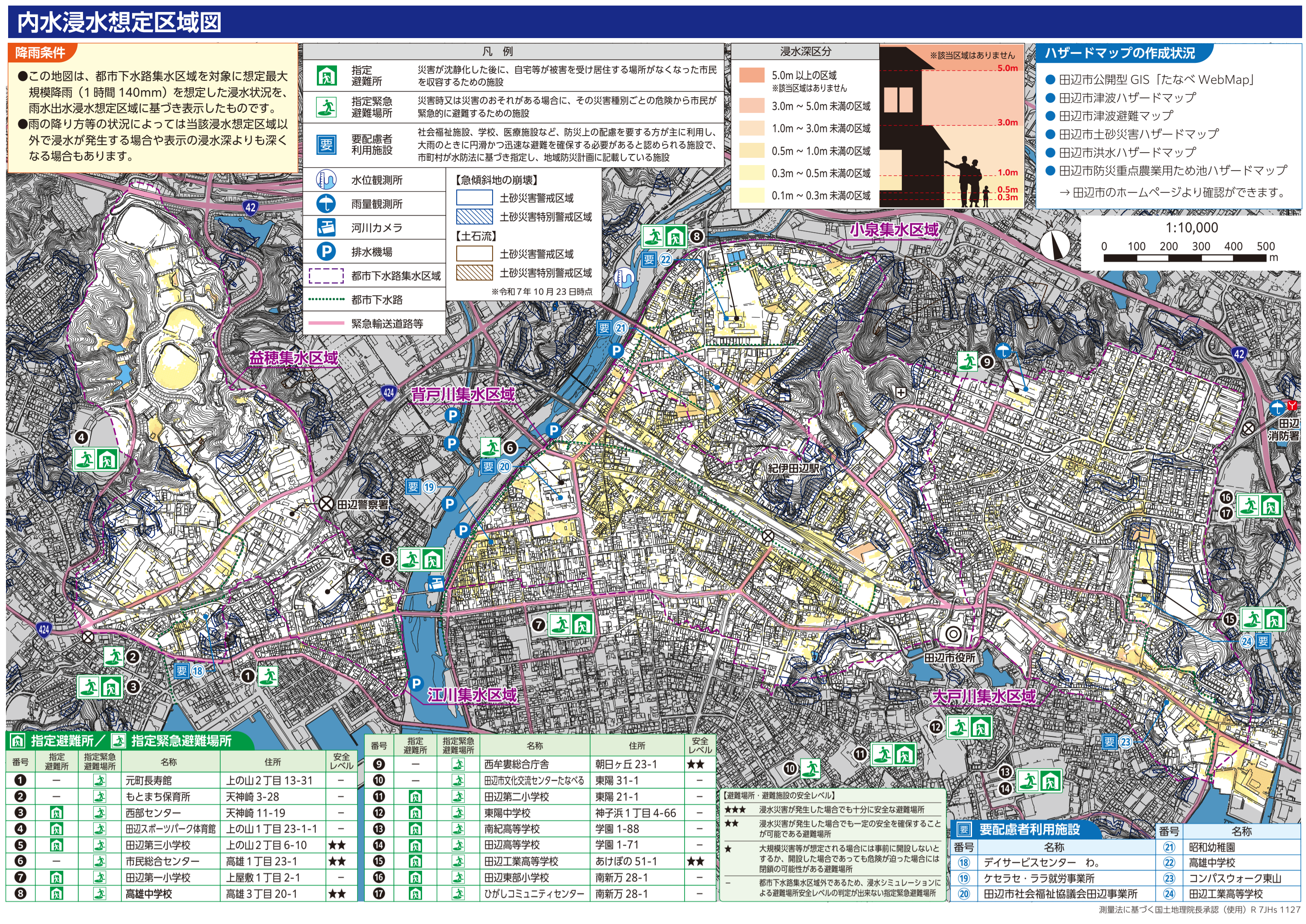
119：消防への火事・救急・救助の連絡  
110：警察への事件・事故の連絡  
118：海上の事件・事故の連絡

田辺市役所 ..... 0739-22-5300 (代表)  
田辺市消防本部 ..... 0739-22-0119 (代表)  
田辺警察署 ..... 0739-23-0110 (代表)

● 災害用伝言ダイヤル

伝言の録音方法	伝言の再生方法
1771 にダイヤル 録音の場合 1 被災地の人の電話番号	1771 にダイヤル 再生の場合 2 被災地の人の電話番号

田辺市 都市計画課 〒646-8545 田辺市東山一丁目5番1号  
TEL:0739-26-9937



## 避難情報についてもっと知ろう

警戒レベル/状況	避難情報	キキクル（気象庁等）
5	災害発生又は切迫 命の危険 直ちに安全確保 際にも安全な避難ができません。命が危険な状況。今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	浸水キキクル 発令 5 災害切迫 （立ち置き避難が加えて危険な場合） 命の危険 直ちに身の安全を確保！
4	災害のおそれ高い 危険な場所から全員避難 ▶危険な場所から全員避難（立ち置き避難又は屋内安全確保）する。	警戒レベル4 注意 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。ただし、各自の判断で、住宅の地下室からは地上に移動し、道路のアンダーパスには近づかないようにする。
3	災害のおそれあり 危険な場所から高齢者等は避難 ▶高齢者等以外の人も必要に応じて、普段の行動を見合わせ始めたり、自主的に避難する。	警戒レベル3 注意 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。
2	気象状況悪化 ▶ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	警戒レベル2 注意 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。
1	今後気象状況悪化のおそれ 災害への心構えを高める	警戒レベル1 注意 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。

※1 田辺市は、河川や雨の情報（警戒レベル相当）のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等（警戒レベル）の発令判断をすることから、警戒レベルと雨量レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

※2 浸水キキクルに関わらず、田辺市から避難情報が発令された場合には速やかに避難行動をとること。

避難指示等が発令されたら速やかに避難行動をとる必要がありますが、突発的な災害では、発令が間に合わないこともあります。避難指示等が発令されなくても、警戒レベルに相当する気象情報を認識し、危険を感じたら早めに避難行動を取ってください。大切なことは「**自ら判断する**」ということです。

**大雨特別警報**

大雨特別警報は、数十年に一度の極めて激しい大雨により、重大な災害がすでに発生している、または発生が差し迫っている場合に気象庁が発表する警報です。土砂災害や河川の氾濫、広範囲の浸水など、命に関わる危険が非常に高い状況を示します。発表された場合は、警戒レベル5相当として、ただちに命を守る行動を取る必要があります。

**記録的短時間大雨情報**

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測（地上の雨量計による観測）したり、解析（気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析）したりしたときに発表します。この情報は、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせする情報です。

出典：気象庁ウェブサイトより編集  
注）この警戒レベルの情報は2026年3月時点の情報です。内容が変更される場合には田辺市ホームページ等でお知らせします。

## 内水氾濫について

**内水（雨水出水）氾濫とは**

通常、まちに降った雨は、雨水路等を通して川へ流れていきます。しかし、川の水が増えすぎたり、潮位が高かったり、短い時間にたくさん雨が降ったりすると、雨水路等が雨水を流しきれずいっぱいになってしまいます。その結果、行き場を失った雨水があふれて道路や家の周りに広がることもあり、これを内水氾濫といいます。川から離れた場所でも起こるのが特徴です。



## 雨の強さと降り方、災害発生の目安

1時間雨量 (mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。（ゴーゴー降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	傘をさしていてもぬれる。	傘は全く役に立たなくなる。		
屋内（木造住宅を想定）	雨の音で話し声が良く聞き取れない。	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる。	道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。		
車に乗っている	ワイパーを速くしても見づらい。		車の運転は危険。		
災害発生状況	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模なけがれが始まる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険な地域では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴き出す。土石流が起きやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生するおそれがある。大雨による大規模な災害の発生するおそれがある。大雨による大規模な災害の発生するおそれがある。

出典：気象庁ウェブサイトより編集

## 災害情報についてもっと知ろう

**防災情報の配信**

▶事前に登録しておくことで、災害時に配信される防災情報を受け取れます。

**防災情報の取得**

▶災害時に、防災に関する情報を取得できます。

**田辺市 公式LINE**

田辺市では、市に関するさまざまな情報の配信・掲載、LINEのトーク機能を活用した相談対応等のサービス提供を行い、より一層の広報活動の充実を図ることを目的に公式アカウントを開設しています。

**和歌山県 防災ナビ**

スマートフォンに気象情報や避難指示などの情報が通知されます。

【登録方法】  
スマートフォンから二次元コードを読み込み、アプリをインストールしてください。

**田辺市防災行政情報システム「防災・行政メール」**

http://bousaigyousei.aamail.aikis.jp/

防災行政無線で放送している各種情報について、メールで配信する登録制メール配信サービスを行っています。

**田辺市 公式ホームページ**

https://www.city.tanabe.lg.jp/

田辺市に関する情報を提供しています。

**和歌山県 防災わかやま**

https://www.bousai-wakayama.jp/dis\_portal/

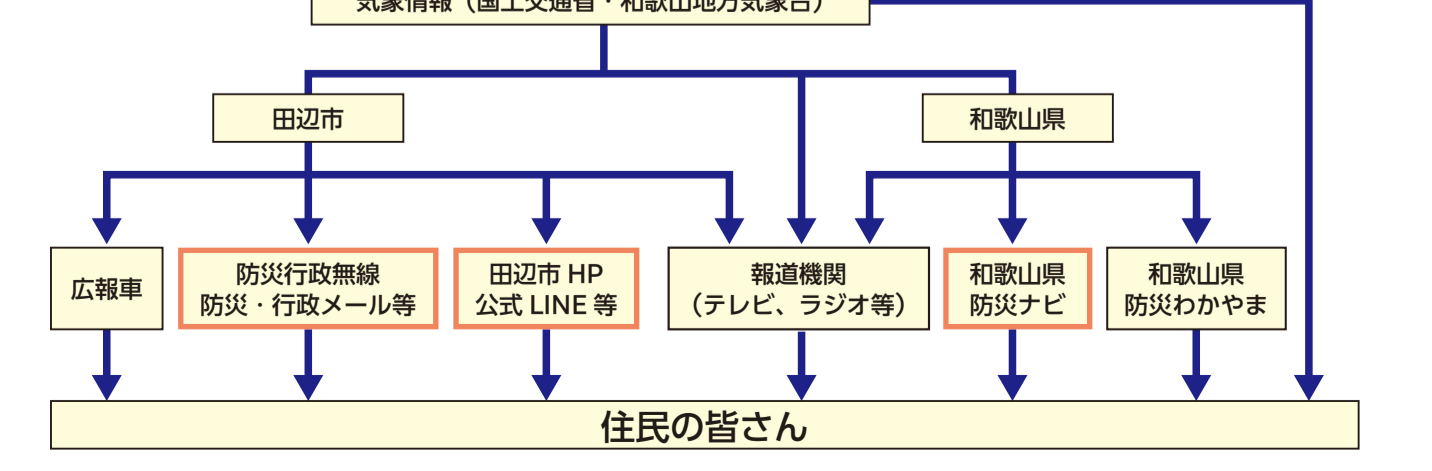
和歌山県の防災関連情報をご覧いただけます。

**気象庁 浸水キキクル（危険度分布）**

https://www.jma.go.jp/bosai/risk/

大雨による浸水危険度の色分け表示で、早めの避難や防災行動の判断に役立ちます。

## 防災情報の伝達経路



## 事前の準備

**災害に事前に備える**

いつもの暮らしの中で、もしもを考えると備えるだけで、いざという時に役立ちます。

**家族の取り決め**

日ごろから災害が起きた時の連絡方法や子供の引き取りなどをあらかじめ家族で取り決めをしておきましょう。

**地域と連携して備える**

●普段から近所と助け合える関係を作りましょう。  
●地域の避難訓練等に積極的に参加しましょう。

## 避難行動時のポイント

**正確な情報収集と早めの避難**

●雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入力しましょう。

**防災責任者の指示に従う**

●避難の時は警察・消防・地元の防災責任者などの指示に従って行動しましょう。  
●独断での行動は危険です。

**動きやすい服装と集団での避難**

●避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での行動を心がけましょう。  
●隣近所のお年寄りや子供、病気の人のための避難に協力しましょう。

**足元を確認しながら避難**

●冠水した道路は足元が見えないため危険です。  
●道路の端を過らないようにし、傘や長い棒などで足元を確認しながら進みましょう。

**安全な避難経路の確認**

●避難所などへの経路は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

**非常持ち出し袋を忘れずに**

●非常持ち出し袋を準備し、持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

**避難に自動車を使わない**

●自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりして大変危険です。自動車の避難は特別な場合を除きやめましょう。

**川や用水路を見に行かない**

●大雨の時に、川や用水路の様子を見に行ったりして流されるおそれがあります。大雨時には絶対に川や用水路を見に行くことはやめましょう。

出典：国土交通省ウェブサイトより編集

## 日頃からの備え

● **避難バッグ**

非常時に速やかな避難ができるように、リュックサック等にまとめておきましょう。

**食料・飲料水（最低1日分）**

□飲料水 □乾パン □アルファ化米 □レトルト食品  
（500mlペットボトル2本） □チョコレート・飴

**日用品**

□携帯トイレ □懐中電灯 □携帯ラジオ □携帯充電器  
□乾電池 □ブランケット □レジャーシート □レインコート  
□防災用ヘルメット □衣類・下着類 □洗面器具・タオル □歯ブラシ・歯磨き粉  
□笛 □万能ナイフ □軍手 □ビニール袋  
□使い捨てカイロ □布製ガムテープ □マッチ・ろうそく □筆記用具

**救急・衛生用品**

□消毒液 □包帯 □手指消毒アルコール □ばねそうこう  
□マスク □常備薬 □ウェットティッシュ

**貴重品**

□現金 □鍵（家や車など） □マイナンバーカード □印鑑  
□証券類の写し（健康保険証、免許証、通帳、保険証書、権利書など）

**その他**

□眼鏡 □おくすり手帳 □新聞紙 □ラップ

**子どもがいる家庭**

□ミルク（キュータイプ等） □子ども用紙おむつ □使い捨て哺乳瓶 □子どもの靴  
□離乳食 □おしりふき □抱っこひも

**女性**

□生理用品 □サニタリーショーツ □おりものシート □中身の見えないごみ袋

**高齢者がいる家庭**

□大人用紙おむつ □介護食 □杖 □入れ歯・洗浄剤  
□補聴器 □吸水パッド

● **非常用備蓄品**

災害発生後、数日間を自活できるようにお家に備えておきましょう。普段から少し多めに食料・日用品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料・日用品を家に備蓄しておく方法（ローリングストック）がおすすめです。

**【食料・飲料水】最低3日分 できれば7日分 × 家族分**

**日用品**

□簡易トイレ □カセットコンロ □ガスボンベ □ティッシュ □トイレットペーパー  
□ポリタンク □ごみ袋

※記載がある物以外にも、一人ひとり自分に必要だと思うものを考えて準備しておきましょう。